



## 戦略物資関連に注目

政府は集团的自衛権の行使を認める閣議決定を受けた安全保障関連法案を、一括して国会に提出する方針を固めました。秋の臨時国会は見送り、来年の通常国会にかけることを検討すると発表しました。

戦後の安保政策の大転換によりやく目途がつかしました。日本が本来の自立する国、普通の国になっていきます。

公明党の同意を得た閣議決定から、今年を見送りに来年の通常国会に出すとの発表に軍需関連も一息いれたようです。

アジアの周辺（フィリピン、ベトナム、タイ、インドなど）は、中国の南下政策で南シナ海、東シナ海が物騒になってきています。

この時期の日本の安保政策の大転換は、世界の軍備拡張に拍車がかかります。戦闘機、宇宙衛星、空母などの需要が出てきます。

軍備拡張には当然戦略物資が必要です。（戦略物資とは、一国の安全保障上または戦争遂行上不可欠で、その帰趨を左右するほど重要な影響を及ぼす物資、資源をいう）これからの危機に備えての備蓄が絶対に必要です。

資源のない日本は特に備蓄が必要です。食料、原油、天然ガス、ウラン、ゴム、銅、アルミニウム、希少金属などを、世界中が備蓄してくると商品価格が上昇してきます。

1989年米ソ和平会談が実現したときはその逆のことが起きました。世界が冷戦状態から平和へと転換したので、大砲からバターへ、軍需から民需への転換です。戦車からブルドーザを作るようになりました。戦略物資も今までの備蓄政策から放出政策に変わりました。日本はアルミニウムの世界的な放出に対して、平和産業で使用を決めたのが缶ビールの鉄缶使用からアルミ缶への転換だったと、その当時の株式勉強会で学びました。

7月に安倍首相が29年ぶりにパプアニューギニアを訪問したのも戦争中に資源を求めていった国でした。隣国北朝鮮がミサイルを日本海へ向けて発射しても歩みよりを止めない日本は、土下座外交と叩かれようとも外交努力を続けているのも戦略物資の確保が目的です。

燃料電池車の水素関連が動いているのも、超電導の電線株が動いているのも、戦略物資の省資源化や代替です。

日本が戦争中に資源がなくて敗戦に至ったトラウマで、戦略物資の確保とその省資源化や代替が日本の安保政策の重要事ですから、その関連でどんな技術が出てくるかを注目しています。

この記事を読んで、株式投資を成功させよう！

平成26年7月11日  
（株式講演家 三木文佑）



株式講演会の出張講演致します。  
少人数でも喜んで。  
090-5154-0515

株式投資帝王学 毎月第3土曜日 16時～21時

いよいよ 2014.10.18 (土) 開講

小人数システムですから、お早目にお申込み下さい。